

入選 低学年の部
ありがとう

お兄ちゃん

大阪府
四天王寺学園小学校二年

谷口 佳郁太

お兄ちゃんがわらうとほくもわらう。お兄ちゃんが歌うとほくが歌う。お兄ちゃんがしゆくだいを始めたらほくも始める。ほくはお兄ちゃんが大好きだから、同じことをやります。

お兄ちゃんは、ほくがお母さんにしかられているといつもなぐさめてくれます。そして、お母さんよりずつとやさしく、

「けいたは、いけないことをしたけど、ちゃんとできるはずやで。」
と言ってくれます。

今年の夏、二人で電車で中百舌鳥のおばあちゃんちに行った時、ほくはお兄ちゃんをこまらせてしまいました。地下鉄の出口がたくさんあった時、ほくはすぐにいつもの出口を思いだして左の方へ走っていきました。

お兄ちゃんは
「反対やで、もどつて来いや」と何回も言いました。だ
けどほくは、お兄ちゃんの言うことも聞かず、地下鉄
の出口を出てしまいました。お兄ちゃんはハアハア言い
ながらおいかけてきます。ほくはうれしくてどんどん

走って行きました。気が付くと今までに来たこともない場所まで来ていました。ほくは、少しなきたい気持ちになりました。やつぱりお兄ちゃんの言うことを聞けばよかった……。ほくは、そう思いました。

お兄ちゃんはすこしこまった顔をしていたけど、ほくの手をつないで元の所へ連れて行ってくれました。そして□と書いてある出口に行きました。そして、おばあちゃんの顔が見えました。ほくもお兄ちゃんもうれしくて、おばあちゃんの所へ走って行って、ぎゅつとだきつきました。ほくは、その時、お兄ちゃんの目に少しなみだが出ていたような気がしました。お兄ちゃんこまらせてごめんね。そして、ありがとうと思いました。

今だからお兄ちゃんの言うこと、しっかりと聞かぬ。

ほくのお兄ちゃんは、たよりになるお兄ちゃんです。たまにけんかするけど、ほくはお兄ちゃんの弟でよかったです。

何でも知っているお兄ちゃん。また勉強も教えてね。いつもありがとう。

お兄ちゃん。